

第8回 APSOM/PSLX フォーラム技術部会

日時：2007年9月12日（水）13：00～18：00

場所：製造科学技術センター（MSTC）第一会議室

出席者（敬称略・順不同）

西岡靖之（法政大学）、松川信也（日立電線）、児玉公彦（エクサ）、河内伸仁（岩井機械工業）、山本明人（光電製作所）、岡宗秀一（MSTC）、武田信一（ジェイティエンジニアリング）、野村卓司（三菱電機システムサービス）、高橋達也（横河電機）、山崎雅史（NTT データセキスイシステムズ）、手島歩三（NPO 法人データ技術管理委員会）、川内晟宏（プロセス経営研究所）、車元努（法政大学）、杉修（書記・法政大学）14名

配布資料

[1]PSLX 標準仕様パブリックコメント 全体に対するコメント

[2]修正範囲の案

[3]第7回ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム技術委員会 議事録

[4]第16回 OASIS PPS-TC F2F meeting(Face-to-Face meeting)/PSLX 技術部会 Adhoc 会議 [合同]

[5]SCF2007 製造情報連携フォーラム 合同デモンストレーション

[6]PSLX 標準仕様バージョン2 第3部 業務オブジェクトモデル(第2版) パブリックレビュー版-Version3-(2007/09/10)

[7]PSLX 標準仕様バージョン2 第4部:オントロジと情報モデル パブリックレビュー版-Version9-(2007/09/10)

[8]PSLX 標準仕様バージョン2 第5部:XML スキーマ パブリックレビュー版 Working Draft-Version6-(2007/09/10)

[9]PSLX 標準仕様バージョン2 第6部:RDB スキーマ パブリックレビュー版 Working Draft-Version9-(2007/09/10)

議事内容

(1)挨拶

※今期委員会に初参加のメンバーが加わり、自己紹介が行われた

(2)前回議事録の確認

※前回議事録の確認が行われた

(3)SCF2007 製造情報連携フォーラム

※SCF2007 製造情報連携フォーラムで行われる合同デモンストレーションの概略について説明があった

※ビジネス層に関して、ERP ベンダーの協力を得ることができたとの報告があった

(4)PSLX 標準仕様パブリックコメント

※コメントの多くは PSLX 標準仕様に取り入れたとの報告があった

※山崎氏から修正範囲案(配布資料[2]参照)についての説明が行われた

※外部参照規格を仕様に乗せる否かについて検討することとなった

(5)Part3

- ※設備と装置に関して用語の問題があり，作業指示との関連性についての意見があった
- ※プロセス産業の視点から考えると，装置の位置づけに誤解を招くとの意見があった．また，オーダーに階層があり，指示に階層がない理由について説明があった
- ※resource の定義が曖昧であるとの意見があった．XML スキーマを変更するのは難しいため Part3 の resource を削除するか検討することになった

(6)Part4

- ※区域で作業場を作るれるのかとの意見があり，生産資源関連の階層構造について議論があり，位置(location)を書き換えることを検討することになった
- ※各部の仕様が全体と対応しているかについて確認がおこなわれた
- ※文章が曖昧であり，読む側に誤解が生じるとの議論があったが，Part4 での誤解はソフトウェアに問題を引き起こす原因にはならないとの意見により，今後検討していくことになった
- ※用語の定義を見直した

(7)Part5

- ※プリミティブ要素の資源の扱い，モデルの線の有無について議論された．資源が二つあるのは混乱を招くとの意見があった．また資源に関してはサブクラスの説明を追加することとなった

(8)投票について

議論に参加したメンバー，コメントをしたメンバーにて投票を行い，APSOM 会員企業の代表が最終的な投票を行い，理事会にて仕様書が決定されるとの説明があった

(9) その他

次回予定

PSLX 技術部会 Adhoc 会議日時：平成 19 年 10 月 11 日（木）13:00～18:00

場所：(財)製造科学技術センター 第 1 会議室（東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX-TT ビル 3 階）

APSOM/PSLX フォーラム技術部会 日時：平成 19 年 11 月 20 日（火）13:00～18:00